

りすぐみだより～初夏号

担任 中尾・永田・松尾・山口き・池上・井上

りす組になり3ヶ月が過ぎました。雨が降る日が続いています。傘をさすのが楽しい子、長靴を履くのが嬉しい子・・・雨の日の中にも子ども達にとっては楽しい要素や発見が沢山あるようです。子ども達が健やかに成長していく姿を、『りすぐみだより』を通じて保護者の皆様にお伝えしたいと思います。



<生活面>

4月初は新しい環境や担任に慣れず泣いていましたが、3ヶ月が過ぎた今では沢山の笑顔が見られ、「おはよう」と挨拶してくれたり、「抱っこ」と手をのびし、親しみを感じてくれています。

登園後、しばらく遊んでから短時間ですが朝の会を始めました。朝のうたをうたったり、手拍子したり、出席ノートに「シールがうまく貼れるかな～」と小さなかawaii指を動かしてシールをなんとか貼っている子ども達です。

給食前には少し眠くなる子もいて、食べる前にウトウト・・・。睡魔には勝てず、時間をずらして食べたりと、一人一人の生活リズムに合わせ、対応しています。また、スプーンやフォーク、手を使って自分で食べようと大喜びです。「自分でしたい」という気持ちを受け止め、見守りながら、自分でできた喜びを味わえるよう、さりげなく援助していけたらと思います。

排泄面では、オムツに出た事を自ら知らせてくれる子がいたり、「おしっこ行く！」と便座に座ってみたり、好奇心や意欲的な姿が見られ成長を感じます。無理なく、一人一人に合ったトイレトレーニングをしていきたいと思っています。

<遊び面>

室内遊びでは、ブロック遊びや新聞紙遊び、絵本を見たり自分の好きなおもちゃをひっぱり出して過ごしています。色々な事に興味を持ち始めた子ども達は、絵本の中でも知っている食べ物や動物、乗り物が出てくると言葉を発したり、「これは？」と聞いては、真似して言うようになってきました。自分の思いが大人に伝わった、共感してくれたワクワク、ドキドキ感を大事にして、これからも、丁寧に言葉を教えていきたいと思っています。

戸外遊びでは、すべり台やたいこ橋に自分で登ってチャレンジしています。砂遊びでは、小さな手で自分より大きいスコップを使って遊んだり、砂の冷たさや温かさ、石ころや花など触ってみたり、色々な感触を味わい楽しく遊んでいる子ども達です。好きな遊びを見つけながら様々な体験をする中で、一人ひとりの沢山の発見や驚きを大切にしていきたいと思っています。

最近、「ここは私の場所」「これは私の物」という意識の表れが、そばに居る友達へ噛みつきや押ししたりする行動になる時があります。玩具や場所の取り合いで、まだうまく言葉で伝える事が難しく、口や手が出てしまいます。ご心配をおかけして申し訳ありません。成長の過程ではありますが、未然に防げるよう目を配り、子ども達の気持ちをしっかりと受け止め、ケガのないようにしていきたいと思っています。

4月～6月の取り組み

- ・戸外遊び（滑り台、たいこ橋、砂場）
- ・室内遊び（ブロック、ままごと、絵本）
- ・月の製作 4月 チューリップ（手形）
- 5月 てんとう虫とちょうちょ（シール貼り）
- 6月 あじさいとかたつむり（タンポ）

これからの取り組み

- ・戸外遊び
- ・運動会の練習
- ・プール、水遊び
- ・毎月の製作
- ・夏祭り遊び

